

保育計画成果報告書

法人名等	学校法人明睦学園
施設名	希望が丘第二こども園
報告者（役職）	大高 美奈子（園長）
住所・連絡先	愛知県豊橋市旭町 164 番地
	TEL 0532-52-2093
	E-mail:daini.kodomo@meiboku.ed.jp

○タイトル（保育計画）

～ 絵本が育む子どもの心 親子の絆 ～

○主な助成備品

絵本

1. 保育計画策定の目的

子どもたちが日々園生活を送る中で、たくさんの絵本に囲まれ、自由に手に取り、開き親しんでほしいと思っています。

絵本に興味のある子はもちろん、興味を持たない子も絵本に囲まれて育つことでその子のタイミングで手に取り、少しずつ親しんでいってくれたらと思います。

当園では1階と2階に絵本ひろばがあり、子どもたちのすぐ手の届くところに絵本がありますが、新設の園ということもあり冊数が不足しており、少しずつ揃えている状態でした。

たくさんの絵本との出会いがその子の感性に触れ、思考力 判断力 表現力などを育む基礎となり、様々な「あそび」へ発展していくと考えます。

また、週末に自分で好きな一冊を選び家庭へ貸し出すことで、家事や育児、仕事に追われる保護者の方とお子さんとの親子の時間づくりの手助けになってくれることを期待します。

園でどんな絵本を読んでいるのか、自分の子はこの絵本のどこが好きなんだろう？どんな気持ちでこの一冊を選んできたのか等々、お子さんの気持ちに少しでも寄り添うきっかけになり、親子のコミュニケーションの時間をより深いものにしてくれると考え、計画しました。

2. 具体的な実施内容

① 環境づくり

今回いただいた助成金で、500冊以上の絵本や図鑑等を揃えることができました。

その絵本を子どもたちが自分で見つけて手に取りやすいように、絵本ひろばや1階から3階までの階段横などに並べました。

また、季節によって絵本の配置を変えたり、各学年で興味のある題材の絵本を目立つ位置に置いたり、配置を工夫しています。



② 絵本の貸し出し

幼児クラスは毎週金曜日一人一冊、子どもが自分で借りたい本を選び、各家庭で楽しむでもらいました。金曜日になると「今日はどんな本選んだの?」「〇〇の本借りれた?」と子どもに尋ねている保護者の方もいて、親子の会話のきっかけになっています。

③ 新型コロナウイルスによる登園自粛期間中の絵本の貸し出し

今年度はスタートしたものの、4月5月に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、愛知県下一斉に小中学校に臨時休業の要請がありました。

当園でも開園しながら家庭での保育が可能な保護者には登園自粛のお願いをしました。誰もが今まで経験したことのない事態に不安でいっぱいになり、小さなお子さんを抱えての感染予防はとても大変なことだったと思います。

そんな中、登園自粛に協力して下さっている親子に向けて時間帯をずらし絵本の貸し出しをしました。外出制限がかかる中のわずかな時間でしたが、親子でおしゃべりしながら絵本を選び笑顔で帰って行ってくれました。

④ 読み聞かせ

たくさんある絵本の中から季節や子どもたちの育ちに合ったものを選び、読み聞かせています。

読み聞かせの場所は保育室、絵本ひろば、テラス等、子どもの様子に合わせて様々です。季節や興味のあるあそびによって、好みの絵本が変化することもあります。お気に入りの絵本を繰り返し読むことも好きです。



3. その成果と評価

身近に絵本がたくさんあることで、子どもたちと絵本の距離が近くなり、手に取り開くことが生活の一部になってきました。

何かに興味を持った時には、図鑑を持ち出してはお友だちと一緒に調べる姿があり、物事に対する興味が深まったように思います。

また、自分たちが感じた「不思議」を紐解くために「調べる」という楽しさに気づき、子どもたちの活動範囲も広がったようです。



友だちと一緒に絵本や図鑑を開くことで、今まではそれほど興味のなかったことも友だちの発言やリアクションに刺激を受け、そのおもしろさを共有し、楽しむことができるのだと私たち保育者も改めて気付くことができました。

金曜日の絵本の貸し出しでは、親子のコミュニケーションのきっかけ作りになっていると思います。「昨日、お母さんに読んでもらった」「僕はお父さんと読んだよ」と嬉しそうに絵本の話をしています。

絵本を介して物語の主人公に共感し、親子で気持ちを共有する。そんな経験ができているのでと思います。

読み聞かせの時間は、保育者、保護者に関わらず、大人のひざの上であたたかい言葉に触れ、絵本の内容だけでなく愛情を受け止める時間でもあります。

乳幼児期に大切にしたいのは、ゲームやスマートフォンから目まぐるしく流れる賑やかな時間ではなく、素朴でやさしい 静かな時間を持つことだと考えています。

短いけれど選ばれた「ことば」と動かない「絵」からイメージをどんどん膨らませてその世界に入り込み、浸っていく・・・この心地良さの小さな積み重ねが、心を豊かに育んでいく大切な時間になると考えます。

4. 今後の課題と展望

今後はたくさんある絵本をさらに保育に活用するにはどうしたらよいか、またそれを自然な形で劇あそびや他のあそびへ発展させるにはどう働きかけたらよいか等、常に職員間で話し合いを重ねていきます。

日々変化する子どものあそびや気付き、思いに寄り添えるよう絵本を有効に活用していけたらと思っています。

これからも子どもたちにとってよりよい環境と関わりを考えながらあたたかい保育を心掛けていきます。

この度は助成をいただき誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

以上